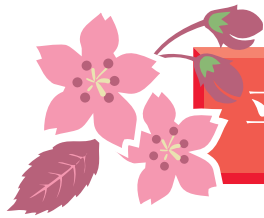


順天堂医院ニュース 2012 NO.39



平成24年度を迎えて

新年度を迎えて、順天堂医院では皆さまに最善の医療を提供すべく、職員一同決意を新たにしているところです。

当院では、高い専門性を有する各診療科が最新の医療を患者さんの立場に立って実践することを目標に、日夜診療に当たっております。同じ病気でも一人ひとりの患者さんの容体は様々です。優れた専門的知識を有する各科の医師、診療にかかわる看護師、そして他の職種にかかわる全ての人々が力を合わせ、一丸となってそれぞれの患者さんに最適で最高の医療を提供すべく努力をしております。

私たち“チーム”の合い言葉は順天堂の学是である“仁”です。他に思いやる心をもって、患者さんやご家族、そして仲間と協力し合いながら心のこもった医療で皆さまにご満足いただけるように精進いたします。



院長 高崎 芳成



バセドウ病に対する 放射性ヨード (^{131}I) 内用療法

糖尿病・内分泌内科 内田 豊義

甲状腺ホルモンが過剰に分泌される疾患のなかで、最も頻度が高いバセドウ病は、抗甲状腺による薬物療法、放射性ヨード (^{131}I) 内用療法、外科的な甲状腺切除療法の3種類があります。わが国においては、抗甲状腺薬を使用することが多いですが、蕁麻疹や肝機能障害などの副作用がある一定の頻度で出現し、抗甲状腺剤を使用することができなくなります。一方で、非侵襲的で合併症の少ない放射性ヨード (^{131}I) 内用療法



教授
綿田 裕孝



助教
内田 豊義

は、下記(表1)に該当する場合に有効です。具体的には、小さなカプセルを内服するだけで終了です。その後、内服した放射性ヨード (^{131}I) が吸収され、甲状腺へ取り込まれ、治療効果を発揮します。当院では、内服後の経過観察を含め、2泊3日の入院期間で治療可能です。ご希望の方は、ご紹介くださるお近くの先生や当院外来担当医にご相談ください。



放射性ヨード内用療法の適応

絶対的適応

- ・抗甲状腺薬で重大な副作用が出たとき
- ・抗甲状腺薬が副作用で使用できないとき

相対的適応

- ・抗甲状腺薬治療や手術治療を希望しないとき
- ・抗甲状腺薬を長期内服し、今後、内服継続を希望しないとき
- ・手術後にバセドウ病が再発したとき
- ・甲状腺機能亢進症を確実に治したいとき
- ・甲状腺腫大を小さくしたいとき
- ・心臓病、肝臓病、糖尿病などの慢性疾患をもっているとき

表1

低分子ヘパリンを用いた帝王切開術後 抗凝固療法で血栓を予防しています

産科・婦人科 牧野 真太郎

妊婦さんは、分娩時の出血に備え、血液を固まらせる機能（凝固機能）が妊娠前に比べ非常に高くなります。そのため、帝王切開などの手術を受けられた場合には、術後の深部静脈血栓 / 肺塞栓症（VTE）の危険性が高くなり、一度発症すると死に至る場合もあり、その予防が最も重要となります。

低分子ヘパリン（エノキサパリン）は、血液を固まりにくくすることにより、血栓の発症を予防する薬です。従来のものに比べ、その副作用（再出血など）の頻度の低さから、諸外国の診療ガイドラインでも推奨されていますが、我が国ではまだまだ導入している施設は少数です。当科では、全国に先駆け、2010年より帝王切開後の患者さんに使用し、発症を予防してまいりました。

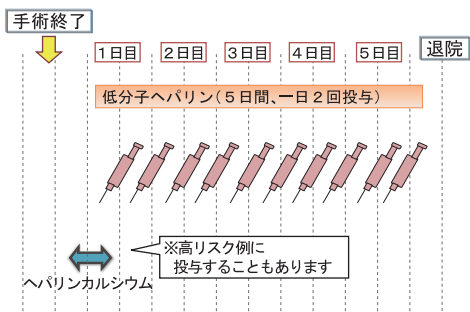
従来から行っていた術後早期離床や下肢のマッサージは継続して行い、さらに万全を期した管理をさせていただきます。



教授
竹田 省



准教授
牧野 真太郎



アルツハイマー病の 新規治療薬と治験について

メンタルクリニック 柴田 展人

アルツハイマー病は脳組織にアミロイド蛋白が異常に凝集、沈着し、神経細胞死を引き起こすことが主要な原因と考えられています。メンタルクリニックでは問診、診察、認知機能評価、頭部MRI検査、頭部SPECT検査、各種心理検査などを行い、包括的にアルツハイマー病の診断を行っております。最近では認知機能のわずかな低下でも、患者さん、ご家族が心配されて早めに受診するケースが増えております。

アルツハイマー病では早期診断・早期治療が重要です。これまで1種類であったアルツハイマー病治療薬は、2011年より4種類となりました。これからのアルツハイマー病治療は、効果などを判定しながら、薬剤を選択・併用することができるようになりました。

また当科では、アミロイド蛋白に直接アプローチできるアミロイドワクチン療法（治験）を世界に先駆けて第I相試験から行ってきております（現在第III相試験中）。他にもアミロイド蛋白を減らすことができる治験を随時行ってしております。対象となる患者さんには積極的にご紹介し、参加いただくようにしております。



教授
新井 平伊



准教授
柴田 展人

顔面神経麻痺

耳鼻咽喉・頭頸科 城所 淑信

顔面神経麻痺は人口 10 万人あたり 30～40 人程度の方が発症するといわれている病気です。

原因の多くはウィルス感染などによる神経の炎症が考えられていますが、その他にも耳下腺腫瘍、中耳炎、外傷、頭蓋内病変などが原因のこともあります。

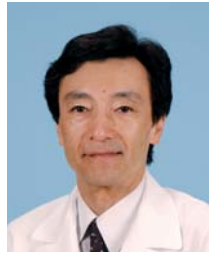
神経の炎症が原因の顔面神経麻痺のうち、30～60%程度の方は自然に治るとされていますが、中には難治性のタイプもあり、症状によっては耳鼻咽喉科にて顔面神経減荷術という手術が必要となる場合もあります。また、発症から時間が経った後の治療では治療効果が低いことが知られています。そのため、顔面神経麻痺が軽症であっても、数日以内には耳鼻咽喉科へ受診されることを強くお勧めします。

顔面神経は顔面の表情筋のみならず、聴力、涙腺、唾液腺分泌、味覚にも関連があるため、耳鼻咽喉科の精密検査が必須となります。

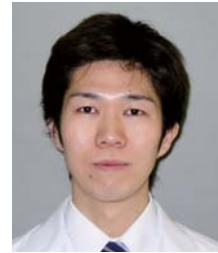
当科では大学病院ならではの専門検査を用いて、患者さんに合った適切な治療を行っております。

また、顔面神経麻痺の治療にリハビリテーションは重要な要素を担っており、治療に応じて、リハビリテーション科とも連携をとり、治療を行ってまいります。

ご心配な点などありましたら、不安を抱えて悩まれることなく、当院耳鼻咽喉科外来へ受診されることをお勧めします。



教授
池田 勝久



城所 淑信

栄養部ニュース

嚥下訓練食への取り組み

当院では、患者さんの栄養をサポートするため NST(栄養サポートチーム)が活動しています。

現在、栄養部では NST と協力して、嚥むことや飲み込むことが難しい患者さん向けの食事(嚥下訓練食)の検討を行っています。

「嚥下訓練食」では、料理を刻まなくても嚥む(潰す)ことができる軟らかさで、口の中でバラバラにならず、飲み込みやすい料理を提供することが重要です。「食べるのが楽しみの1つ」、「美味しい料理を食べることが幸せ」という声はよく聞かれます。嚥むことや飲み込むことが難しい患者さんにも食べる喜びを感じていただけるよう、見た目にも味にもこだわりながら、メニューの開発をしています。

管理栄養士 有村 芳子



嚥下訓練食メニュー (例)

- *全粥
 - *鶏肉の照焼 (右上)
 - *スイートポテト (右下)
 - *キャベツと赤ピーマンのサラダ(中央)
 - *おろしバナナ (左上)
- 一般食メニューを嚥下訓練食へ展開し、作成しています

臨床検査部ニュース

生化学検査について

人の身体に流れる血液は、細胞成分と血清成分から成り立っています。生化学検査は、その血清中のさまざまな成分を測定する検査です。いま話題となっているメタボリックシンドロームをはじめとし、全身におこるさまざまな病気の診断や治療効果の判定に役立っています。検査項目は、脂質検査（総コレステロール、中性脂肪、HDL コレステロール、LDL コレステロール）、腎機能検査（クレアチニン、尿素窒素）、肝機能検査（AST、ALT、 γ GT）、炎症マーカー（CRP）等があります。生化学検査は、食事の影響をうけることがあるので注意してください。

（詳しくは、当院の臨床検査部ホームページに掲載してありますのでご参照ください。）

当院の臨床検査部ホームページ

http://www.juntendo.ac.jp/hospital/support/rinsyo_kensabu/index.html



生化学分析装置

医療福祉相談室ニュース

介護保険はどういう人が使えるの？

★対象者⇒介護または支援が必要となり、介護保険サービスの利用を希望する方で、次の①・②のいずれかに該当する方です。

①65歳以上（第1号被保険者）

②40歳～64歳で「※特定疾病」に該当する方（第2号被保険者）

※特定疾病 下記の16の疾病に該当するかについては、担当医へご相談ください。

1. がん末期
2. 関節リウマチ
3. 筋萎縮性側索硬化症
4. 後縦靭帯骨化症
5. 骨折を伴う骨粗鬆症
6. 初老期における認知症（アルツハイマー病、血管性認知症等）
7. 進行性核上性麻痺、大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病
8. 脊髄小脳変性症
9. 脊柱管狭窄症
10. 早老症（ウェルナー症候群等）
11. 多系統萎縮症（シャイ・ドレーガー症候群等）
12. 脳血管疾患（脳出血、脳梗塞等）
13. 糖尿病性神経障害、糖尿病性腎症及び糖尿病性網膜症
14. 閉塞性動脈硬化症
15. 慢性閉塞性肺疾患（肺気腫、慢性気管支炎、気管支喘息、びまん性汎細気管支炎）
16. 両側の膝関節又は股関節に著しい変形を伴う変形性関節症

★介護保険のサービスを利用するには、市区町村の窓口または地域包括支援センターなどで申請を行い、要介護認定を受ける必要があります。

看護部ニュース

当院には、院内研修を修了して『静脈注射実施院内認定看護師』の資格を取得した看護師が現在 652 名おります。

点滴の穿刺や薬液の注入を医師の指示を受けて行っています。



アドバンスコースの表示

今年度は、更にくアドバンス(上級)コース>の名称で CV ポート、麻薬持続注射、インスリン療法、造影剤静脈注射の資格者を養成しています。専門的な知識や技術を習得した看護師により、安全で質の高い医療を実践し、チーム医療に貢献していきます。資格取得者はネームプレートに資格を表示しています。

看護安全管理課 伊藤千春

薬剤部ニュース

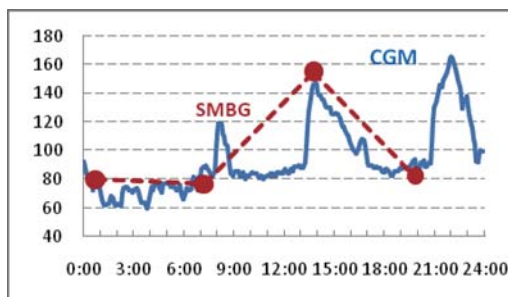
痛くない血糖測定

糖尿病治療において血糖値を知るための血糖測定はとても大切です。高血糖の程度だけでなく、治療中にしばしば問題となる低血糖症状を確認することもできます。

現在広く使用されている方法は SMBG (self-monitoring of blood glucose : 血糖自己測定法) です。指に針を刺し、わずかに出た血液で血糖値を 1 日に数回測定します。

これは、痛みが生じることや針を繰り返し刺すことにより皮膚が固くなる、血糖値の変動が測定した時点でしかわからないなどの欠点があります。

一方、最新の CGM (continuous glucose monitoring : 持続血糖測定) といわれる方法では、センサーの先端を腹部などに固定するため、針を刺す痛みを伴うことがなく、さらに一定間隔で 24 時間以上持続的に血糖値を測定するため、SMBG と比べるとはるかに詳細な血糖値を知ることができます。それにより、日常生活における血糖値の変化を知ることができるため、血糖コントロールが改善することが知られています。今後普及が望まれる期待の血糖測定法です。

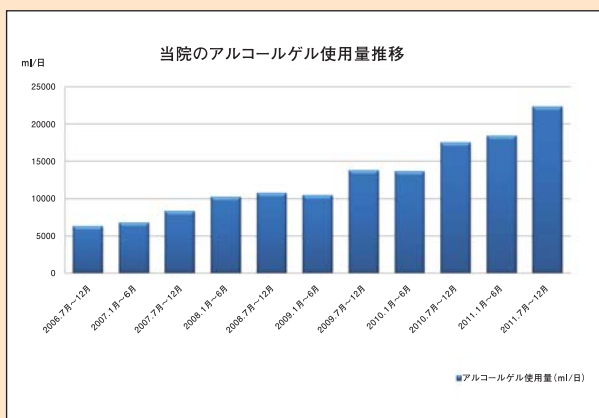


感染対策室からのお知らせ

院内感染症の拡大を防止するためには、医療従事者が知らぬ間に患者さんへ院内感染を運んでしまわないよう手指衛生を常に徹底しておく必要があります。しかしながら、世界的にも医療従事者の手指衛生実施率が低迷しやすく、またその改善も難しいという課題があります。

当院では、アルコール性手指消毒薬（以下、アルコールゲル）を恒常的に使用するための管理システムとして「Push up プロジェクト」を開発し、2010年5月から病院職員一丸となって手指衛生の推進に努力しております。

このプロジェクトは、各部署の看護師がアルコールゲル目標使用量を算出し、連続して目標量を達成すると、感染対策室が部署を表彰し、職員の意識を高める目的で開発したシステムです。表彰基準は、アルコールゲル自主目標量を2か月連続達成で「ブロンズ表彰」、さらに2か月（通算4か月）連続達成で「シルバー表彰」、最終的に2か月（通算6か月）連続達成で「ゴールド表彰」という設定をし、図にあるようなメダルとメダル掲示板を作成し部署へ配布しています。



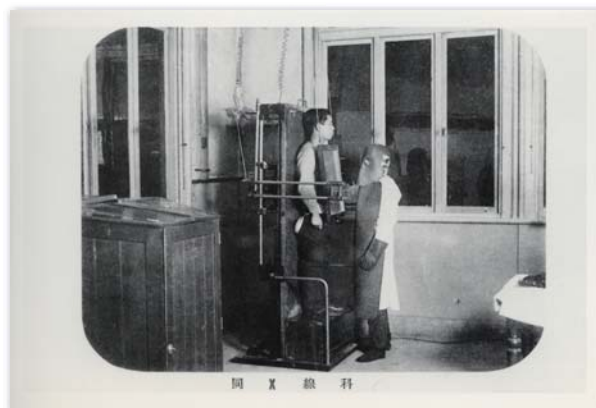
ロンズ表彰」、さらに2か月（通算4か月）連続達成で「シルバー表彰」、最終的に2か月（通算6か月）連続達成で「ゴールド表彰」という設定をし、図にあるようなメダルとメダル掲示板を作成し部署へ配布しています。

当院は、患者さんの安全を守るため、すべての職員が適切に手指衛生を徹底できるよう努力を続けてまいります。



感染対策室長 堀 賢
感染管理認定看護師 小松崎 直美

順天堂医院の今昔



関東大震災前後の順天堂の評判

大正12年(1923)9月1日の関東大震災で、順天堂はほぼ全焼した。再建されたのは、それから5年後、昭和3年(1928)のことである。その頃に掲載された『東京日日新聞社編大東京繁盛記・山手編』(1999年復刊)に作家徳田秋声が本郷界隈を次のように語っている。「本郷に2大病院がある。帝大医科付属の病院と順天堂医院であるが、一つは官府的で一つは平民的である。帝大の外来は惨めで、どうかすると学生の実験材料などにされるが、営利的でないだけに縁引きのあるものにとっては頗る調法である。順天堂は外科を以て鳴っているが、震災前までは大抵の科が具備し、それぞれ専門の権威が控えていた。震災後ようやく新建築が、全部か一部か分からないが、かなり完備したものが出来ているらしい。自分は東京中この病院ほど勉強している病院は少ないだろうと思うが、繁盛していたことも他に比類ないくらいで、廊下は人の往来がらくえきとしてさながら市の如きものであった。病院のくせに少しも陰気くさくないのは外科の患者が多いせいかもしれない。」(一部の漢字を仮名に改めた)と述べている。

明治、大正の順天堂には、外科、内科、眼科、産婦人科、皮膚科、泌尿器科、レントゲン科(日本初の外来)があり、科長は医学博士あるいは医学士で、海外留学が珍しい時代に、ほとんどがドイツ留学帰りであった。

順天堂大学医学部医史学研究室
特任教授 酒井シヅ

順天堂大学医学部附属順天堂医院
〒113-8431 文京区本郷3-1-3
TEL : 03-3813-3111(代表)

編集 病院広報委員会
発行 医療連携室(平成24年4月発行)

ホームページ

<http://www.juntendo.ac.jp/hospital/>

順天堂医院

検索

